平成１９年６月５日号（お久しぶり号！）

きょうどうニュース

市民と行政がお互いに力を合わせて、まちづくりに取り組んでいく「協働（きょうどう）」を目的に、岸和田市ではさまざまな取組みが行われています。

今回は、その一環として先日行われた職員研修の様子についてお知らせします！

皆さんは、市民の方が参加している会議、説明会などに参加したことはありますか？

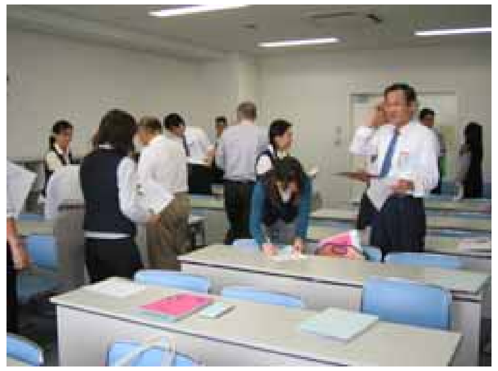
ここ数年の間に、施策を進める様々な場面において、市民参加の動きが見られます。

市民参加の会議で、意見がぶつかってしまってシドロモドロ･･･、その後の会議も凍りついてしまった経験はありませんか？

今回の研修では、市民会議をうまく進行し、合意形成を目指していくための技術を学ぶことを目的に、**「こうすればうまくいく！“市民会議”」**と題し、３回連続の講座として開催されます。

その第１回目が５月３１日（木）堺町の市立公民館で行われました。

みんなでジャンケンゲーム！？これって何？？



この日の研修参加者はおよそ 20 名でした。職場、性別、年齢もバラバラ･･･。非常に個性あふれるメンバーでした。

緊張した雰囲気の中、いよいよ研修がスタート！

「どんな難しいことをするのかな？」という不安げな顔の方も数名（？）いましたが、それもつかの間、いきなりみんなでジャンケンゲームの始まりです。ジャンケンしながらお互いの自己紹介が始まると、あっと言う間に緊張もほぐれました。

緊張した雰囲気をときほぐすことを“アイスブレイク”と呼んでいます。初対面の人どうし、緊張したままでは本当の考え、意見は出てきにくいものです。これも一つの手法ですね！

石井先生ってこんな人！

今回の講師は、**石井布紀子先生**です（右写真の真ん中の方）。

石井先生は兵庫県西宮市出身の方で、阪神・淡路大震災をきっかけに、住民参加のまちづくり活動（特に防災活動）のサポートをされており、日本全国を飛び回っています。

つい最近まで、能登半島地震で被災した石川県旧門前町（現輪島市）で災害ボランティアのサポートにあたってこられました。２回目以降の講座では「スペシャルゲストも検討中です」とおっしゃっています。皆さんご期待下さい！！

コミュニケーション能力を高めよう！

皆さんは人と話をする時、何に気をつけて話をしますか？

人と話をすることで、単なる会話ではなく、相手の潜在的な思いや意欲を引き出すことができますか？上手にコミュニケーションを図ることによって、その人の本音や力に近づくことが可能です

石井先生曰く、「インタビューゲームでコミュニケーション力は上がりますよ!!」。このインタビューゲーム、皆さんも是非お試し下さい。

＜内容とルールの概要＞

① ２人１組になります。そして“聞き役（先攻）”“話し役（後攻）”を決めます。
② それぞれルールを守って 15～20 分交代で他己紹介を行うためのインタビューを行います。
  - **聞き役のルールは「何を聞いても OK」、「聞き役に徹する」、「会話のメモを取る」の３点です。**
  - **話し役のルールは「聞かれたことには答えなくても良い」、「聞かれたこと以外も答えて OK」**
③ 両方のインタビュー終了後、15 分程度で相手の話を A５サイズの紙にまとめます。（まとめ方にコツあり！）
④ まとめた内容を相手の人に見てもらい、チェックを受ける。

インタビューゲームのポイントは**「相手を引き出す」**ということです。あまり頭で考えず、相手にインタビュー（interview:中に入って観て聞く）力を高めれば、本人自身も知らない未知の部分に気付ける場合もあります。

会議における合意形成のコツとツボ！

研修後半では、「よい会議の条件」についてグループワークを行いました。これまでの経験・体験から様々な意見が出てきました。

出てきた意見をチョット紹介すると…

「Eco 会議がええなあ～（要点絞って効率的に）」

「全員が発言できる雰囲気づくりが大事！」

「事前にしっかり準備が必要」　　　などなど…

では“何をどうすれば”参加者が満足した会議になるのでしょうか？？

続きは次回の研修で。。。次回をお楽しみに！！

次回の研修も体験学習やグループワークを中心に行います。

「参加したい!!」という方は、企画課（423-9492）まで♪♪